

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501230
法人名	医療法人社団久和会
事業所名	グループホーム 桜
所在地	愛媛県新居浜市船木甲3656番地8
自己評価作成日	平成24年 9月 5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>医療法人が開設した介護老人保健施設に併設したホームです。医療面では協力病院の全面的なバックアップで緊密な連携が取れています。緑多い素晴らしい環境のもとで共同生活を送ることによって、少しでも元のご自分を取り戻していただけるように、職員一同誠心誠意努めております。</p>

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年9月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●ご家族の交流会は、花見と芋炊き会の行事時に合わせて行なっておられる。交流会は、ご家族同士でおしゃべりするような機会にもなっている。芋炊き会時、ご家族は、利用者の様子を見て、「普段もこんなに食べているの？」と驚かれたり、職員に感謝の言葉をかけてくださった。運営推進会議に参加したご家族からは、「病院の受診結果が知りたい」との要望があり、事業所では1ヶ月の受診結果を報告することを始めておられた。入居説明時、ご家族には、運営推進会議の説明を行い、参加協力をお願いされており、毎回、2～3名のご家族へ案内を出しておられる。現在、会議には1～2名のご家族が参加してくださっている。調査訪問時、ご家族の来訪があり、職員は、居室にご家族のいすを用意されていた。職員は、笑顔で対応されており、ご家族が帰られる際は、「ありがとうございました。またおいでください」と声をかけておられた。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 桜

(ユニット名) 2 階

記入者(管理者)
氏名 木村信夫

評価完了日 平成 24 年 9 月 5日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念は玄関ホールに掲示しています。全職員が周知しており職員はそれを念頭に一生懸命努力しております。	
			(外部評価) 事業所では、「私たち職員は、入居者の皆様が少しでもご自分らしい以前の生活を取り戻されるよう誠心誠意支援いたします」と理念を作成して、玄関入り口や2階の通路の壁・事務室に提示しておられる。新人職員の研修時には、理念等、事業所の意義や目指すことを理解できるよう、学んでおられる。管理者は、日々の申し送り時にも時折理念に触れ、職員で確認し合う機会を作っておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の夏祭りなど各種行事へ参加し、またホームの行事にもお越しいただくなど交流に努めています。しかし、お茶会など、もっと来ていただきたい催しには参加叶わずと言ったところです。今後も沢山の行事に参加いただけるよう努力を続けて参ります。	
			(外部評価) 職員は、校区や自治会主催の夏祭りに利用者と一緒に参加して、地域の方達と交流されている。サツキを大切に育てておられる近所の方が、「事業所に飾ってください」と鉢植えを持って来てくださったり、畑で採れた野菜を持って来てくださる方もいる。毎月のお茶会時には、ボランティアの方が来てくださり、利用者は、とても楽しみにされている。ボランティアの方からは「みなさんとてもお上手になりましたね」と感想をいただいた。管理者は、自治会からの依頼で、介護保険について市のパンフレット等をもとに、地域の方達に向けて説明されたこともある。事業所は、恒例の春のお茶会に、「地域の方にも参加いただきたい」という思いで、自治会に案内されたが、ご都合が付かず、参加いただくまでに至らなかったようだ。管理者は、「今後もいろいろな機会を捉えて、地域の方達に事業所を知ってもらえるよう取り組みたい」と話しておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 毎月の全体会で、また部署会で研修した資料を、自治会長さんに提供したり、また自治会の時に認知症の話やグループホームだけでなく介護施設等のサービスの利用について説明している。以前よりははるかによくご存じで説明にもうなげいで聴いて居られます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 職員が会議に参加することで、現場の詳細な状態を発信できている。またご家族からは、以前よりも具体的に連絡方法などの要望も出るなど、大いに参考とすべき貴重なご意見がある。外部評価への取組みについては、部署会で全員に伝えることで、意思統一を図り、よりよいホームづくりに役立っている。	管理者は、「もっと事業所について意見をいただけるように、ご家族等、たくさんの方に参加してもらいたい」と考えておられる。又、「話しやすい雰囲気を作れるよう工夫したい」と話しておられた。たとえば、会議時、事業所だけでは支援が難しいようなことについて相談されたり、サービスの実際を見たり体験できるような機会を作り、より具体的な意見等を引き出せるよう、取り組まれてはどうか。
			(外部評価) 会議には、民生委員、ボランティア代表、自治会長、ご家族等が参加されている。会議では、事業所の活動や職員会議の内容について報告されたり、時には、「食中毒」や「移乗の仕方」「車いすの扱い」等、職員の研修内容の資料も付けて説明をされている。地域の方からは、地域行事の案内をいただき、又、事業所からも行事案内をされている。参加者からは、「事業所の報告から活動や雰囲気がよくわかった」と感想をいただいた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市の職員さんが運営推進会議に参加することによって連携のパイプが大きくなっていると思います。何でも相談すればきちんと回答いただいております。	
			(外部評価) 市の担当者の方は、運営推進会議に参加していただき、「介護認定基準の変更の説明」について説明して下さったり、「熱中症対策」について助言をくださっている。又、職員は、地域包括支援センター主催の「地域密着部会」に参加し、同業者と事例検討等をしている。介護相談員の訪問が2ヶ月に1回あり、相談員の方は、利用者とお話して希望等を聞き取ってくださっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 前回の外部評価時に頂戴したアドバイスも参考にし、身体拘束はありません。しかし、併設の老健施設で開催される勉強会には多くの職員が参加し、身体拘束廃止に向けた取組みについて知識を習得しています。	
			(外部評価) 職員は、毎年、法人全体の研修時に「身体拘束」について勉強をされている。事業所は、玄関等施錠せず、ユニット同士でも日頃から行き来しておられ、2ユニット合同でカラオケを楽しむような機会も作っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 併設老健施設との合同全体会議では、年間のスケジュールを設定して研修を実施している。その中で、高齢者楽隊防止についての研修も行っている。また、採用時には必ずこの件についての教育を実施している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) この制度の内容について、高齢になられた主介護者だけでなく、他のご家族にも説明し、理解を得る努力をしています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に説明の機会を設けています。ご家族からの質問等にも納得いただける返答をし十分にご理解と納得の上で契約を交わしています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の受入や運営推進会議における意見交換で、今までも率直なご意見があり、経営者の即決で対応する等ご不満はないものと思っています。	
			(外部評価) ご家族の交流会は、花見と芋炊き会の行事時に合わせて行なっておられる。交流会は、ご家族同士でおしゃべりするような機会にもなっている。芋炊き会時、ご家族は、利用者の様子を見て、「普段もこんなに食べているの？」と驚かれたり、職員に感謝の言葉をかけてくださった。運営推進会議に参加したご家族からは、「病院の受診結果が知りたい」との要望があり、事業所では1ヶ月の受診結果を報告することを始めておられた。入居説明時、ご家族には、運営推進会議の説明を行い、参加協力をお願いされており、毎回、2~3名のご家族へ案内を出しておられる。現在、会議には1~2名のご家族が参加してくださっている。調査訪問時、ご家族の来訪があり、職員は、居室にご家族のいすを用意されていた。職員は、笑顔で応対されており、ご家族が帰られる際は、「ありがとうございました。またおいでください」と声をかけておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 他人同士の集合体だけにいろいろな考え方、性格があります。チームワークが崩れないことがご利用者へのサービスに欠かせないことですか、気になること、不満を感じることは主任、管理者に直接進言出来る雰囲気になっています。業務運営に関しても同様な考え方で対応しています。久和会の和……人と人の和です。	
			(外部評価) 職員は、内・外部研修に積極的に参加されており、運営推進会議時には、市の担当者の方から、お褒めの言葉をいただいたこともある。接遇研修に参加した職員は、調査訪問時、「研修内容に感動した。頑張ろうという気持ちが湧いてきた」等と研修の感想を話してくださった。職員は、利用者の外出場所等について提案して、出かけるきっかけとなっている。管理者は、日頃から、職員の表情や様子を気に掛けておられ、さりげなく話しかける等して、精神面についてもフォローされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与、労働時間、休暇所得ほか全てにおいて、きちんとしており他のホームと比較しても何ら劣ることはない環境づくりが出来ております。	
			(外部評価)	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 老人保健施設の併設であるため、医師、看護師、作業療法士などによる様々な研修に参加できている。また外部研修にも参加して他の職員と共有することで職員のレベルは高くなっていると思います。介護福祉士も7名になりました。	
			(外部評価)	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 居宅介護支援事業者の来訪が多いです。しかし、ホームの数が増えても職員数が不足しているとの状況。レベルアップに追いついていないのが現状のような気がします。新設のホームの方が来られた折には長年培ってきたことをアドバイスしたいと思っています。	
			(外部評価)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) まず初めはご本人の話を傾聴することを重要視しております。なんでも話ができるようになれば心を開いていただき、その後のケア活動もスムーズに推進しているように思います。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人が入居しても、忘れてはならないのがご家族への心のケアだと思います。ご家族との信頼関係なくしてはご本人を含めたよい人間関係は生まれません。ケアと並行して大切な事・・・人と人との信頼関係だと思って職員一同日々努めております。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 何事もまずは第一印象が大切。ご家族の心の叫びに耳を傾け、現状をお聞きして分析してご本人とご家族の両方にプラスとなるケアの提供を親身になって行うことが重要かと思えます。信頼関係が出来れば、後のケア提供においても円滑に進むと思えます。良いケア、安心のケアは信頼関係の上に成り立つと思っています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 共同生活の場という認識を全員が持って日々の生活を送っています。食事の準備に関しても、まだまだ入居者の皆さんが大先輩。要領も一味違います。教えていただきながら共に有意義な道を送っていききたいと思っています。対応しております。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 以前より始まった1ヶ月の生活状態のお知らせが効果を発揮しています。よく来られる方はより詳しい情報を、来られる回数少ないご家族でも状況を知ることが出来ます。それに基づいてご家族とのコミュニケーションが深まり、ご本人さんとご家族とのパイプ役としてお世話できているかと思っています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前よりは、外出の機会が増えました。ご家族のご理解で、散髪、外食、墓参り、ちょっとした買い物など、また日帰りの自宅訪問なども多くなりました。更にお願をして参ります。(ただ、お友達の面会は少なくなりました。)多世代交流をお願いして参りましたが、お孫さん、ひ孫さん等、お身内の面会は増えました。 (外部評価) 入居前、併設の法人デイサービスに通っておられた利用者も複数おられ、時にはデイの催しに参加して交流をされている。事業所の「桜通信」は年4回発行しておられ、ご家族からは、「兄弟や親せきに渡したいので、余分にもらえないか」と希望があり、応じておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 当ホームはトラブルが少ない方だと思います。様々な生活歴の方が共同で生活しておられる訳ですから、トラブルがない方が不自然化も。幸い、その兆候が見られたら、早めに職員が察知し中に入って納める・・・と言った状態です。しかし、物盗られ症状もありますが、そんなに大騒動になることもなしで、和やかなホームだと思っています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 前回も書きましたが、当ホームは医療法人、在宅に帰っても、また入院で退去されても、いつも何らかの相談があります。デイケア利用について、或いは退院後のことについて相談があります。田舎ならではの良い関係、雰囲気があります。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ここ数年は、ご家族から「レポート」を頂戴出来ることも増えました。今までの生活のご様子や好き嫌い、趣味等など。ご本人の個性を入居後も変わらず重要視して共同生活の援助をして参ります。 (外部評価) 事業所では、利用者ご本人について、ご家族から「小さなことでも教えてほしい」と考えておられ、入居時、ご家族には、「自由になんでも書けるようなレポート」を書いていただけるようお願いされている。利用者の出身や結婚、職歴のほか、「耳元で大きい声で話してください」等、ケアへの要望を書いてくださるご家族もある。又、年1回、利用者「食事に関するアンケート」を取っておられ、その結果をもとに、毎朝飲む乳飲料の種類を替える等につなげられた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前には必ず面接し、ご家族から生活歴、環境、サービス利用歴を窺っています。更に、ご家族にご本人の生活歴等々のレポートをお願いして参りました。大半の方が協力してくれています。双方の情報交換は十分できていると思っています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 併設老健ゆずりの経過記録を全職員が勤務シフトに応じてご本人の状態を記録しています。その集約をご家族にお知らせするようにしてから、以前よりもご家族にとっても状態の把握が詳細に出来ています。〔生活の記録〕その内容は、認定更新調査に活かしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人、ご家族、入居までのケアマネジャー等からご意見を聴き、希望に沿った介護計画を作成するように努めています。また、その効果については日々モニタリングをして記録に残しております。変化を感じた時は、必ずご家族に報告し対応を話し合っております。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、利用者の日頃の言葉から汲み取った思いや、ご家族からのケアへの要望等に沿った計画が作成できるよう、心がけて取り組まれている。モニタリングは、「介護サービス達成状況」の様式を用いて、「支援内容を実践できたか」「効果はどうだったか」を、毎日「◎・○・×」の記号で記し行なっておられ、3ヶ月ごとの計画見直しにつなげておられる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) ご利用者毎に介護経過を詳細に記録しています。また、日々の状態像を引き継ぎノートにも記録し、全員が目を通して情報の共有をしております。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療法人が母体という利点から併設の老健施設との連携で他のホームと比較して大規模な催しが可能です。また医療連携に於いても人的な機動力を有効活用しスピーディーに実施されています。ご家族の安心感の大きな要因の一つかと思えます。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 新居浜市の介護相談員制度との連携も軌道に乗り、皆さんそれぞれの思いを語って居られます。そして、地域の観光資源や季節ごとの催し、老健と合同でのボランティアさんの導入、更には秋祭りの太鼓台の来園(地域自治会のかなりのご苦労がある)など外部との触れ合いを意識した努力をしております。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご家族の希望第一優先で受診するようになっています。現在は、協力病院にない診療科のみ他院を受診している入居者がほとんどです。協力病院での受診の場合は家族、施設、病院の連携を密接に行っています。</p> <p>(外部評価) 入居時には、ご家族に、「利用者の急変時には、24時間いつでも母体病院へお連れできる」ことを説明されており、利用者、ご家族の安心につながっている。母体病院がかかりつけ医となっている利用者がほとんどであり、利用者の状態によって、週1回、2週間に1回往診に来られている。母体病院へ受診する際には、職員が同行されており、他医療機関への受診は、ご家族が付き添っておられる。入院する場合には、「介護サマリー」を事業所で用意して、医師に情報提供されている。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 「普段と違うな」と思ったら必ず医療連携先に報告し、早い判断をもらい適切な受診につなげている。その流れをご家族も理解されており、安心感になっている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時はほとんどが協力病院・(連携医療機関)である為、情報交換は大変密接です。入院時のサマリーだけでなく口頭での詳細な状態報告を行っています。また入院中の状態を逐次聞いて退院時の態勢づくりの参考としています。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時の説明時にこう言った場合の対応について話し合っています。またこのような状態が起こりそうな場合には、再度、主治医よりご家族に説明があり、ホーム、ご家族、医療機関の連携で混乱なく支援できています。</p> <p>(外部評価) 利用者は、終末期のあり方について、具体的な希望を話すことはあまりないようだが、ご家族は、「最期は病院へ連れて行ってほしい」と希望する方がほとんどの方である。事業所では、これまでに看取りを支援した事例はないが、管理者は、「今後、利用者ご家族の希望によっては、事業所で看取るような場合もある」と話しておられた。管理者は、月1回、行われる法人内の「部署会」時に、系列施設での看取り支援の事例を聴くような機会もあるが、「事業所で支援するには、まだまだ職員の研修の必要性がある」と感じておられる。利用者の希望等も探り、利用者主体の終末期を支援できるような取り組みをすすめていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 併設老健との合同勉強会(全体会)で講習をうけたり、医療連携先の医師の指導もあり、今まで適切な対応をしております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議の話題に災害についてのことがよく出てきます。いざと言う時は、近くの学校に避難することとされていますが、移動する道路が危険で、おそらく当ホームが近所の避難場所になるかと推測しています。地元自治会長もそういった認識を持って居られ普段の連携の重要性を認識しています。定期訓練は実施しています(消防署立会)。 (外部評価) 避難訓練は、消防署立ち合いのもと、法人全体で年2回行なっておられる。火災を想定して昼間・夜間、1回ずつ行っておられる。又、「通報装置の取り扱い」「消火器の使い方」についても、職員が体験できるよう取り組まれている。訓練後、消防署の方から、「真剣にできている。まずまず良好である」との感想をいただいた。今年2月にスプリンクラーを設置された。	管理者は、いざという時には「地域との連携が大切」であることを認識しておられ、運営推進会議時、案内して今年11月に予定している避難訓練には、自治会の役員の方にも参加していただきたいと考えておられた。事業所付近は、「水害危険区域」となっており、事業所では、防災時のマニュアルも作成されており、管理者は、「今後はマニュアルにも沿って実際の訓練を行いたい」と話しておられた。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の先輩としての対応は全職員が出来ていると思います。普段から馴れ合いの言葉遣いをしないように気をつけながら業務に当たっています。全職員での研修、外部講師を招いての講習などで知識を植え付けています。 (外部評価) 管理者は、「利用者と節度あるより良い関係を築くために、利用者に対して敬意をもって話しかける」ことを指導しておられる。調査訪問時、職員は、利用者の名前を呼んでから、ゆっくり穏やかな口調で話しかけておられた。事業所便りに利用者の写真や名前を載せる際には、利用者・ご家族に了承を得るようにされている。利用者が排泄を失敗したような場合、職員は、素早く対応して他の利用者にはわからないように配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 決して職員で何か入居者の皆さんの個人的な事を決めることは決してありません。ご本人に「どうしましょうか」と尋ねるか、またはご家族に相談してから決定します。極力ご本人に決めていただき、ご家族の確認を得るようにしております。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事の準備や後片付け等は積極的にお手伝い下さいます。しかし、その日の体調やご気分が出来ないことがあって当然。無理強いはしません。日々マイペースで無理をせずと思っております。お部屋でお過ごしの場合でも常に目配り気配りを忘れないように徹底しております。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お化粧品に関する小道具類は必ずご持参下さいとお願いしており、誕生会への参加の折には皆さん「よそいきの格好」をされています。理美容院へ行った時には「あら、綺麗になったですね、格好いいですよ」等の声掛けを忘れずに……。誰しもちょっとしか声掛けは嬉しいもの。髪型、口紅など言葉を掛けた時の素晴らしい笑顔は何物にも代えがたいです。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備中の雰囲気はなかなかアットホームです。出来る方はどんどんご自分の役目のごように職員のお手伝いや、アドバイスを下さいます。総じて穏やかな雰囲気楽しんで居られます。昼食時にどうかご覧あれ。(ご飯の炊き方や汁物の作り方など、皆さんからのアドバイスが効を奏しております。)	
			(外部評価) 朝食、毎食のごはん・汁物は、ユニットごとに手作りしておられ、利用者は、野菜を切ったり、盛り付け等をされている。昼食・夕食のおかずは、法人の厨房から大皿で届き、事業所で盛り付けておられる。頂きものの野菜を使って、おかずを1~2品増やすこともある。時には、昼食にホットプレートでお好み焼きを焼いたり、中庭で芋たきを楽しむこともある。又、毎月、「一日」「誕生会」には、厨房に要望して利用者が好まれる「ちらしずし」になっている。法人の方針により、職員は、お弁当を持参して利用者と食卓をともにされている。職員は、利用者に食事の味や固さについて感想を聞き取り、直接厨房へ伝えておられる。調査訪問時、利用者は食器を拭いたり、台拭きをされていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 併設老健施設の管理栄養士による献立のお陰で、栄養のバランスには不安なく対応できています。食事形態もその時々体調にあつたものを提供いたしております。摂取量、栄養バランス、水分補給は皆さんの健康管理で重要な事柄であり、日々気を付けております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご本人の状態に応じた介助方法で、毎食後必ず実施しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) おむつ減らしが大切な事は十分理解しておりますが、どうしても普段の生活の中でちょっと失禁・・・ということがあり、最近はおむつ形式のおむつなどを使用しております(ご本人の希望、ご家族了承の上)。しかし、皆さんの排泄パターンに合わせ、また定時のトイレ誘導などで対応できるように、プライバシーに十分気を付けた声掛けをして対応に努めております。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者が食事やレクリエーション・散歩の前後等にトイレに行けるよう、声をかけたり誘導して排泄を支援されている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運動不足にならないように、ホーム内での歩行や周辺の散歩、各種のレクリエーションへの参加呼びかけなどで可能な限り対応しています。食事関係は管理栄養士に相談できる体制になっており、協力病院との連携も効果的に利用できている。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) どうしてもお風呂の嫌いな方もいらっしゃいました。しかし、職員のお手この手の声掛けでやっとならんと同様に入浴されるようになって、今では習慣になっています。入りたくない時には決して無理強いせず、気の向いたときに声掛けし対応しております。</p> <p>(外部評価) 浴室は一般家庭のような浴槽で、シャワーチェアも用意されている。利用者は、週3回入浴できるよう支援されており、3時くらいから夕食までの間で入浴されている。現在は、毎日入浴したいと希望する利用者はおられないようだが、2ユニットで一日おきにお風呂を沸かしておられ、利用者の希望があれば支援できる。車いすを使用する利用者も、職員が2名で介助して浴槽で温まれるよう支援されている。季節に応じて、しょうぶ湯やゆず湯等を楽しまれている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 今まで過ぎて来られた習慣はご本人にとっては生活そのもの。ご自分の生活パターンを重視した生活介助をし、強制することなく穏やかな日々を送れるように対応しています。しかし、昼間に寝て夜眠らないといった慣習は避けるように、日中の活動メニューを考えてお声掛けし、活動していただいております。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 皆さんの服用されているお薬の情報は全員がしっかりと把握しています(薬局の発行する説明書)。もらって来た時のチェック、変更になった時の詳細な連絡等を行い、『緊密な連携体制を維持しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 「掃除洗濯が趣味でしたので是非毎日やらせて欲しい」と言われ、恐る恐る見守りのもとでお願いしたところ、これは自分の仕事です・・・と言った雰囲気、とてもお元気になられ、ご家族も大満足といったケースもあります。出来ることはして頂き、出来ないこと援助の必要な事にのみ手出しするように努めています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎回のことですが、努力は出来る限り行っています。季節ごとの行動計画や、地元自治会行事などには努めて出かけております。ご家族の協力がある外(買い物、外食、理美容、墓参りなど)の機会は増えております。 (外部評価) 菖蒲・桜等の花見や初詣等、季節に応じて、利用者数名ずつで外出されている。又、散髪や買い物、墓参り等、利用者から希望があれば、職員は、ご家族に伝え、支援していただけるようお願いされている。「知人宅へ行きたい」と希望があった際には、利用者が直接ご家族に希望を伝えられるよう、電話することをサポートされた。利用者は、日常的に敷地内を散策されているが、事業所前は坂道であることから、「利用者の身体的な理由もあり、近所へは一部の利用者しか出かけることができない」と管理者は、話しておられた。	今後、利用者の行きたい場所や懐かしい場所をさらに探り、希望に沿って出かけられるような支援に取り組みしてほしい。又、地域資源と利用者をつなげて、日常的に出かけるような機会を作り、利用者が地域とつながりを持って暮らし続けられるよう、支援に工夫されてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 前回は記述しましたが、ご自由にお金を持って居られトラブルになったことが何度かあり、以後事務所で管理するようになりました。しかし、必要な時にはいつでもお渡しするので不便はないとのこと。収支についても詳細な報告が出来るように対応しております。(個人で所持されている方も居られます。)	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話、手紙ともご自由にされています。ご家族からの電話取り次ぎも職員が行っております。なんら制限はありません。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 明るく広い共同空間は何より安らぎを与えるものです。照明も間接照明で柔らかく、窓から眺める緑多い景色が何より心を和ませてくれます。お越しの折是非ご覧ください。</p> <p>(外部評価) 玄関入り口やユニットの共用空間には、市内の「いきいきフェスティバル」に出展するために、利用者と職員が共同で作成した紙細工の大作が飾られていた。壁には赤とんぼやブドウの飾り付けがされており、職員が生けたコスモスの花を飾っておられた。又、壁には、「みんなとなかよく」「今年一年も元気」等、利用者個々が書いた今年の目標も掲示されていた。居間の大きな窓からは、山や市内の様子を眺めることができ、夏には花火大会等も見物された。利用者が「気分転換」できるように、職員は、いろいろなレクリエーションを考えておられ、居間ではほぼ毎日、歌やボール・お手玉を使ったゲーム等、レクリエーションを行っておられる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 大きなテーブル以外にテレビの前のテーブル、会話を楽しむ別のテーブルもあり、一人で趣味を楽しむにも十分なスペースが確保され、大いにご利用頂いております。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 居室内の家具類は、今までの思いが詰まった使い慣れたものを持ちこんで頂いております。個人差はあるものの、皆さんお気に入りの者はお持ちになっていらっしゃると思います。今後も何かとご家族には思いである品物の持ち込みをお願いしたいと思います。</p> <p>(外部評価) 事業所の周りに植えている桜が、居室の窓からよく見えて春にはとてもきれいようだ。利用者は、「部屋に居って花見ができるんよ」と話してくださった。ご家族の写真や市からの長寿の表彰状を壁に飾っておられる方や、ご家族が持って来られた観葉植物の水やり等をする利用者もいる。ご自分の干支を知っている利用者も多く、居室入り口の表札の上には、それぞれに干支の絵を付けて、目印にしているユニットもある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) トイレへの経路には手すりがあり、それを頼りに移動可であり、また場所を示す張り紙や目印で解りやすくしております。最近ではほとんどの方が近代的な設備にも慣れてきたように思います。</p>	